

森林総合科学科

1. 教育・研究上の目的

本学科は、人間と森林との共生に貢献できる人材の育成が、教育・研究目標である。森林そのものと環境循環について科学的に理解することからはじまり、森林のもつ資源生産的機能と環境循環機能を総合的に考究するなかで、これからの循環型社会の創造に貢献できる専門知識を養う。

2. 教育目標

森林総合科学科では、問題の発見能力と解決能力とを身につけ、社会的使命感と倫理観を高め、森林に関する、

- (1) 幅広い知識と理解力
- (2) 専門的知識と技術の活用等の諸能力

の涵養を教育の目標とする。

3. ディプロマ・ポリシー

森林総合科学科では、人間と森林の共生に貢献しうる人材の養成を目的として、カリキュラム・ポリシーに掲げる各講義科目・実習・卒業論文等の指導を通じ、環境保全、資源生産、資源利用、社会・経済の各領域にわたり設置した授業科目を履修し、所定の単位の修得と卒業論文評価基準に基づく審査に合格し、以下の資質・能力を身につけた学生に対し学位を授与します。

- (1) 森林にかかわる多様な事象を総合的に捉え、社会人としての倫理観を有し、社会の問題を発見する能力を身につけている。
- (2) 自然環境の保全と循環型社会の創造にかかわる諸問題を総合的にとらえる知識と技術を身につけている。
- (3) 森林・林業・林産業に関する諸問題を解決する具体的な技術と能力を身につけている。
- (4) 論文の執筆やコミュニケーション等の能力を身につけている。

4. カリキュラム・ポリシー

森林総合科学科のディプロマ・ポリシーを踏まえ「森林に学び、森林について学び、森林のために学ぶ」姿勢を基本に、林学・林産学の教育を実践するため、それらの専門科目および生物学・化学・物理学・工学・経済学・社会学・教育学等の手法を基礎として、以下の専門科目を配当し、これに従い教育を行います。

- (1) 森林に関する基礎的事項を共通して理解するための「森林生態学」、「造林学」、「森林保全学」、「林業工学」、「木材工学」、「林産化学」、「森林経営学」、「森林政策学」等の必修科目を配当する。

- (2) 森林・林業・林産業等にかかわる専門技術者として必要な能力を向上させるための「林木育種学」、「森林機械学」、「野生生物管理学」、「緑化学」、「木質材料学」、「木材保存化学」、「森林情報学」、「森林環境経済学」等の選択科目を配当する。
- (3) 情報収集能力・問題発見能力・解決能力・表現能力等の涵養、実践技術や知識の深化を目的とする「森林学実験実習（一）～（四）」や「演習林実習」等の実習科目を配当する。
- (4) 本学科を構成する各分野・研究室に特化し、研究計画の立案、実験・調査等の実施、考察、さらに論文の執筆や発表を通して、森林・林業・林産業にかかわる総合力を修得するために「卒業論文」を配当する。

5. アドミッション・ポリシー

森林総合科学科は、広義の農学を基礎として、本学のアドミッション・ポリシーが掲げる「環境」分野への貢献のために、広く各科目を学んだ者のうち、次のような学生を求めています。

- (1) 農林業、木材・特用林産物利用、環境保全・防災、農山村地域等、広く森林に関わるものごとに興味・関心を有している。
- (2) それらについて幅広い知識への関心や柔軟な思考能力を身につける意欲を有している。
- (3) みどり豊かな国土と健全な地域社会の創造に向けた問題発見能力や問題解決能力を身につけることを希望している。
- (4) それらの実現に向けてチャレンジする意欲を有している。